

# かわにし

議会だより

第111号

2012

10.15



平成23年度決算

基金さらに積み増し ..... 2

教育問題など3議員が町政をただす ..... 10

国道287号川西バイパス事業開始 ... 19

収穫の喜び

大塚小学校稲刈り P15に関連記事

●発行／山形県川西町議会

●編集／広報常任委員会

●印刷／有限会社 笹原印刷

〒999-0193 山形県東置賜郡川西町大字上小松1,567 TEL0238(42)6674 HP <http://www.town.kawanishi.yamagata.jp>



工事後

工事前

長年の懸案だった門前犬川駅前線の改良工事が完工。危険な狭い道路が改良され、安全な道路になった。

9月定例会の  
あらまし

9月定例会が9月4日から21日までの18日間の会期で開催されました。  
第1日目に、財政健全化法にかかわる報告2件、工事請負契約の締結、工事変更請負契約の締結2件を可決した後、過疎地域自立促進計画の一部変更1件、平成24年度3会計補正予算を一括上程し、常任委員会、予算特別委員会にそれぞれ付託しました。さらに平成23年度7会計決算認定を一括上程、決算特別委員会を設置し、付託しました。

第2日目に、一般質問を行い3議員が教育問題などをとりあげ、町政をただしました。  
第3日目を以降に、常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会分科会を開き、議案を審議しました。  
最終日に、予算特別委員会、決算特別委員会の採決後、本会議を開き、付託した11議案を原案どおり可決しました。また請願1件を採択し、意見書2件を可決しました。  
なお、今期定例会の傍聴者は15人でした。

地方交付税にかげり

平成23年度主な事業

①道路整備事業	2億6487万円
三枚床道環線	1億0097万円
北郷八ツ口線	2940万円
門前犬川駅前線	3322万円
町道舗装(オーバーレイ)	1871万円
町道側溝整備	1161万円
②冬期交通確保事業	2億2668万円
③緊急雇用創出事業	7271万円
④基金管理事業	4509万円
子育て支援基金	1503万円
起業支援基金	1503万円
人材育成交流基金	1503万円

平成23年度決算の特徴は、次のとおりである。  
①実質単年度収支は1億4321万円の赤字となった。財政調整基金は5億2363万円、前年比14.8%（6772万円）増、町債管理基金2億7万円、前年比33.4%（5005万円）増と積み増し、繰越金は2億1265万円だった。

②最大財源の地方交付税は49億3030万円、前年比2.0%（9745万円）増となった。置賜広域病院組合分を除いた本町純粋分は36億5160万円（前年比44.7万円の減額）となり、昨年まで増額が続いた地方交付税に陰りが見え始めた。  
③町税は12億9912万円、前年比1.5%

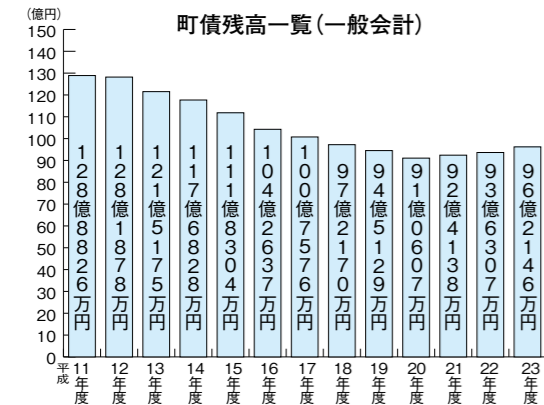
基金の残高

	財政調整基金	町債管理基金
平成22年度	4億5591万円	1億5002万円
平成23年度	5億2363万円	2億7万円

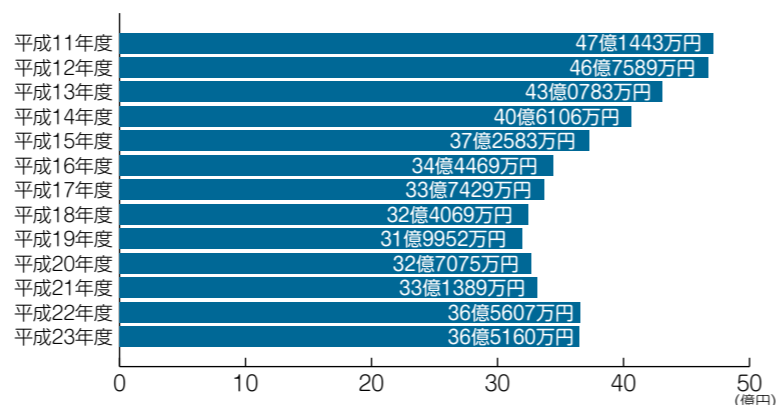
（1922万円）増となった。  
④財政健全化法に基づく財政指標、資金不足比率は、いずれも国の指標をクリアしている。

ここが知りたい

町債（借入金）の推移



地方交付税の推移(置賜広域病院組合分を除く本町純粋分)



# 平成23年度各会計決算の議決状況

会計別	歳入	歳出	議決の内容
一般会計	94億5167万円	92億3146万円	全員賛成により認定
国民健康保険事業特別会計	18億9104万円	18億8906万円	全員賛成により認定
下水道事業特別会計	5億9675万円	5億8370万円	全員賛成により認定
農業集落排水事業特別会計	8326万円	7963万円	全員賛成により認定
介護保険事業特別会計	14億8337万円	14億7355万円	全員賛成により認定
後期高齢者医療特別会計	1億6596万円	1億5441万円	全員賛成により認定

水道事業会計	収益的	5億1012万円	5億0891万円	全員賛成により認定
	資本的	8224万円	*1 2億4163万円	

※1 不足する1億5938万円は繰越工事資金、減債積立金、資本的収支調整額、損益勘定留保資金などで補てん

水道事業会計剰余金の処分	繰越欠損金169万円	賛成多数により認定(反対1)
--------------	------------	----------------

財政指標 平成23年度一般会計等健全化判断比率						
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	公営企業会計に係る資金不足比率	
—	(一般会計の赤字額が*2標準財政規模に占める割合)	(全会計の実質赤字額が標準財政規模に占める割合)	(全会計の償還額が標準財政規模に占める割合)	(将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合)	(資金不足の額が事業規模に占める割合)	
川西町	0%	0%	13.7%	127.5%	0%	
国	早期健全	14.30%	19.30%	25.0%	350.0%	20.0%
	財政再建	20.0%	30.0%	35.0%	—	—

※2 標準財政規模 標準的な税収、地方交付税、地方譲与税等自由に使える財源の標準的な規模を表す。平成23年度の本町標準財政規模は63億2515万8千円。

**町長** 外部評価)を受けたまちづくり委員会から行政評価をどう総括しているか。掲げた。初年度の成果をどう総括しているか。

**佐々木** 後期基本計画に主要プロジェクトとして「地域づくり活性化」「6次産業化推進」「交流基盤確立」を掲げた。初年度の成果をどう総括しているか。

**橋本** 滞納繰越が増加しており、国民健康保険税は1億2754万円が未収入となっている。経済情勢の悪化とともに払いきれない人が増えている。特に国保会計は基金を取り崩してバランスを保っている。医療費

**町長** 収入率を上げる。取納率を上げる。一般について検討していく。

**橋本** 減らす努力とともに、思い切った一般会計からの援助(繰り入れ)をし、県内でも相当高い本町の国保税を払える金額にすべきである。

**佐々木** 一議員が、主要プロジェクトについては、成果が見えなく評価に値しないとの厳しい意見だった。地域資源を生かすことに尽きるが、そのための人材育成が鍵となる。当面6次産業化拠点施設、ふれあいの丘整備を計画していく。

**主要プロジェクト初年度の成果は**

**佐々木** 一議員

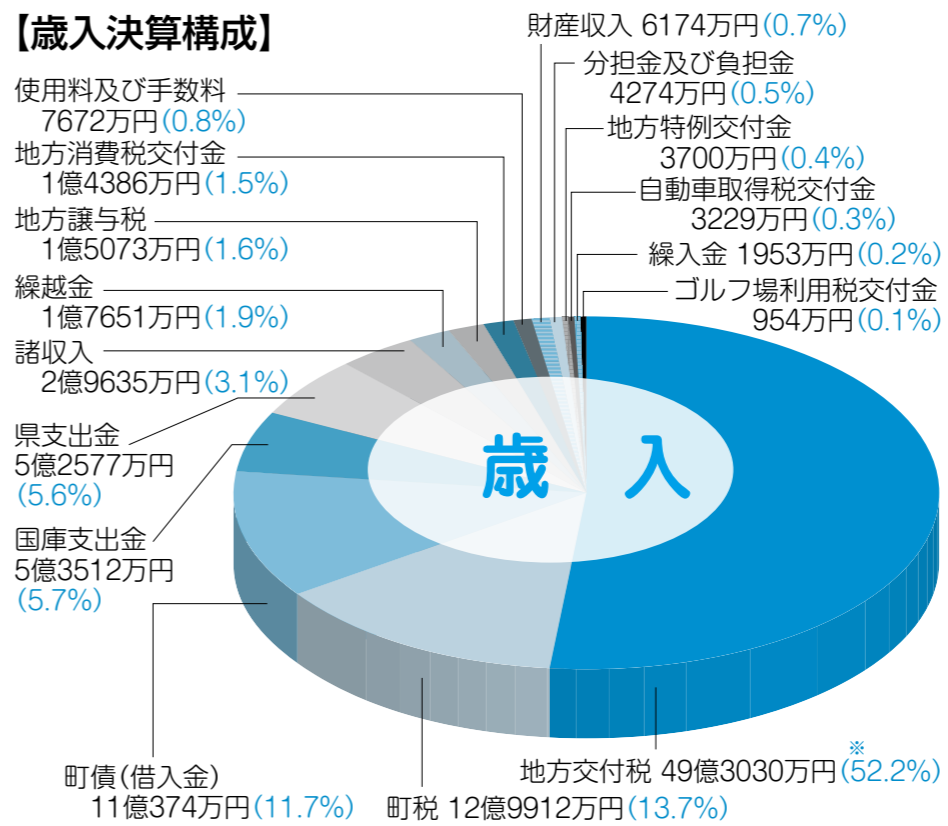
**国民健康保険税引き下げを**

**橋本** 一議員

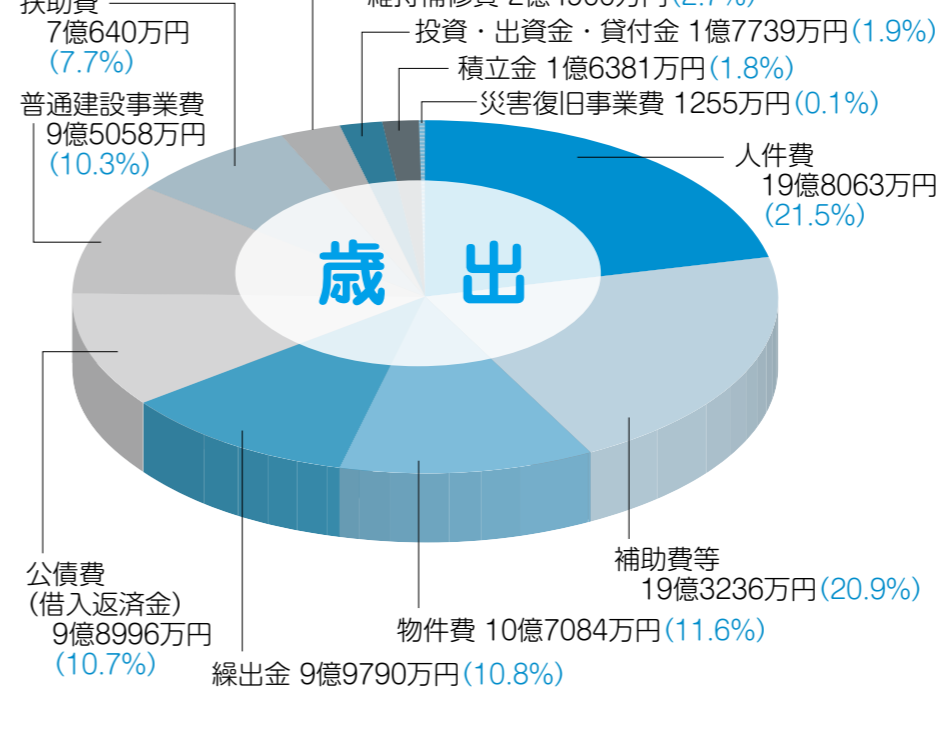
**総括質疑**

# 一般会計決算

## 歳入 94億5167万円



## 歳出 92億3146万円



※歳入歳出の(%)は、総額に対するそれぞれの比率。

# 決算審議

決算特別委員会は、常任委員会を単位とする2分科会で構成され、一般会計など7会計の決算を審議しました。ここでは、総括質疑、分科会審議での質疑、町長に対する質疑を要約してお伝えします。

# 財政健全化見据えて



# 町長に聞く

平成23年度の決算について、特に政策的なことを町長にたずねました。

## 交流事業、町民にPRを

**問** 4次総・後期基本計画の主要プロジェクトである「交流基盤確立」のやまがた里の暮らしと今後の展望を問う。

**町長** 「やまがた里の暮らし」は平成22年度に総務省の交付金事業として採択を受け、同年9月に「やまがた里の暮らし」



敬老の日にダリアの花のプレゼント — 交流事業PRを

推進機構」を立ち上げ同機構への委託事業としてスタートした。これまでの活動としては、「大学コンソーシアムやまがた」と連携したダリア活用の研究や、首都圏で川西町をアピールするイベントへの参加などを行ってきた。今後、ダリヤの里体

験活動受入協議会やかわにしツーリズムなどに類似した目的を持つ団体との統合も視野に入れ、その中核として外からの力を引き出す窓口の役割を果たしたい。



公平負担が原則 — 水道料納入意識の啓発を

## 未収金対策を強化せよ

**問** 水道料金をはじめ、下水道、農業集落排水及び町営住宅使用料の未収対策についてどのように考えているか。

**町長** 過年度分滞納額の減少を図るとともに、今年度分の期限内納入を促すことにより未納分を減らし、確実に収納できるように

に鋭意未収対策を行っている。特に水道料金については、納税相談員による再三にわたる自宅訪問や電話による納付相談、納入催告や未収金回収を行っている。しかし、いかなる催告にも応じない滞納者には給水停止執行という強制的手段を実施し

ている。今後は、簡易裁判所の支払督促制度や少額訴訟制度の活用を検討して債権の保全に努める。

# 補正 予算

## 地方交付税の削減を

# 前年度繰越金で補う

### 主な内容

1億1192万円の交付税が削減された。なぜ？

歳入で24年度当初見込んでいた地方交付税が、交付税算定基準となる単位費用の大幅な削減や不交付団体が少なくなったことを受け、本町に交付される地方交付税1億1192万円が減額された。歳入不足は生じたものの、前年度の繰越金により、予定していた今年度の事業に影響はない。

環境保全型農業直接支払事業・補助金を追加  
国の事業を受けて、地球温暖化防止や生物

多様性保全及び有機農業への取り組みを行う「農業生産者」に対して支援を行う事業の補正であるが、生産者が取り組みやすい事業内容にすべく要望を国に行うよう意見を付した。

置賜広域病院組合運営事業・負担金を追加  
24年度の交付税額の確定による追加補正である。

40歳までの川西町定住者に財政支援実施  
町内の空き家を利用し定住移住を希望する人に、上限30万円の資金を援助しようとする「定住移住促進事業」の補正が組まれた。

除雪体制の準備始まる  
今年度も例年同様の除雪体制、除雪車両の整備を行うため、冬季

交通確保事業・除雪委託料等の追加補正が組まれた。  
全員賛成により可決

平成24年度一般会計補正予算(4回目)の主な事業	
(歳出)	
置賜広域病院組合運営事業・負担金	1377万円
環境保全型農業直接支払事業・補助金	379万円
住宅建設支援事業・補助金	450万円
定住移住促進事業・補助金	30万円
冬季交通確保事業・除雪委託料等	3940万円
中学校維持管理事業	273万円
戸別所得補償円滑化基盤整備事業	338万円
財政調整基金積立金	▲1481万円
(歳入)	
地方特例交付金	▲464万円
普通地方交付税	▲1億1192万円
財政調整基金繰入金	1399万円
前年度繰越金	1億3265万円
農業生産基盤整備事業債	820万円

# 一般質問

## 統合中学校の評価については

### 教育長 — 統合検討委員会を設置し、今年度末まで取りまとめる。

**橋本** 昨年4月に統合した川西中学校の現状と統合成果はどのように考えるか。

**教育長** 全生徒対象のアンケートを実施し状態を把握している。「学校生活は楽しい」「自分自身が成長している」などと回答する生徒がほとんどで、部活動も真剣に取り組んでいる生徒も大半、同時に実施した給食アンケートでも満足している。統合の検証は学習内

**橋本** 全国的にいい問題が大きい。報道されている。大津市では最悪の事態が発生して大きな問題となっている。

**教育長** 川西町のいじめの状況把握はできているか。毎月いじめ件数の報告を受けている。今年度4月から

**橋本** 全国的にいじめの問題が大きい。報道されている。大津市では最悪の事態が発生して大きな問題となっている。

**橋本** 川西町では全国学力・学習状況テスト（全国学力テスト）を実施しているが学校ごとの序列について

**橋本** 4月に改正された介護保険で生活援助サービスの時間

容、部活動、学校生活、通学、地域との関わりなどの項目を生徒、保護者へのアンケート調査などで統合前と比較していく。

7月までの報告件数は小学校1件、中学校ではなかった。児童生徒一人ひとりの思いや考えを十分に受け止め、信頼に基づいた人間関係を築けるよう取り組んでいる。いじめがあつた場合も迅速な対応と指導を指示し、改善状況も報告を受けている。

**教育長** 文科省の方針に沿って調査研究を進め、解答状況の多面的な分析による指導上の課題を明らかにし、教育指導の改善に役立てていきたい。

**訪問介護の状況は**

**齊藤** 協働のまちづくりの土台をなす自治会組織の在り方について問う。

**教育長** 住民自治組織の制度は、戦前には、町内会や部落会といった名称で「公的な制度」として組織されていた。だが、戦後占領期に廃止され、それ以来、法制化は行われていない。平成3年、自治会が「地縁による団体」として認められ、法人格を取得する道が開かれた。自治会など住民組織の法的根拠は。

**教育長** 平成5年には、「川西町自治会長設置等に関する規則」が作られ、町内の

**教育長** 転入時に住民生活課の窓口で、

**齊藤** 未加入世帯に対する独自対策は、自治会長などへの指導・助言はどうか。

**教育長** 転入時に住民生活課の窓口で、

**齊藤** 自治会未加入世帯には、「町報」は配布されないで、幼児検

**教育長** 自治会未加入世帯には、「町報」は配布されないで、幼児検



橋本欣一 議員

定例会2日目に、3人の議員により一般質問が行われました。その内容を要約してお知らせします。

が60分単位から45分単位に短縮され、生活の水準が維持されないという報告があるが、町内の状況はどうか。

**教育長** サービス内容を45分単位区分に変更したのもあるが、従来どおり60分程度のサービスが必要な人はそのまま継続されてお



統合の検証、生徒の声を大切に

チラシなどを配布し、自治会の紹介を行っている。自治会のない地域では、町主催の「居住者懇談会」を開催し、居住者間の交流・親睦をはかる機会を設けて加入の促進を図っている。

**齊藤** 協働のまちづくりと自治会の関係はどうあるべきか。

**教育長** 自治会が担っている活動を尊重し、町民と行政が互いに役割を明確にしなが

**齊藤** 自治会未加入世帯には、「町報」は配布されないで、幼児検

診の情報が届かない。せめて検診の個別案内は行うべき。また、自治会管理のゴミ置き場にゴミも置けない。行政の責任で対処すべきと考えるが。

**教育長** 幼児検診は戸別に案内している。なので今後は検討する。また、ゴミ問題についても、何らかの形で対応させていただく。

**齊藤** 親と同居している若者と違い、若くして所帯を持つて

いる人たちは地域の一員である。また、地域や社会のことなどに十分に理解していない。負担も多くあり、地域の人たちのサポートが不可欠である。町長と若者世代との懇談会を望む。

**教育長** 若い皆さんの意見を伺うことは大変重要であり、若者世代との懇談会は広聴活動の一環として実現できるように努力していく。

# 自治会への加入促進はどうなっている

## 町長 — 居住者懇談会を催し加入の促進を



齊藤智志 議員



自治会未加入世帯のゴミ処理は大きな課題

# 一般質問



高橋輝行 議員

## 公の役職を兼務することに違和感をもつ！

町長ー各々の団体で定められた手続きに基づいている。

### 観光行政について

**高橋** 観光事業について、本町においてもいろいろな政策の取り組みをしている。さて、現在の観光協会長は、地区交流センター長も勤められている。役職を兼務することとは、手続き上問題はないと思うが、私は違和感をもつ。どのように考えるか。

とともに、観光行政は、国、県、市町村が広域的に展開している。本町の観光協会長が他の団体の役職を兼務していることだが、それぞれの団体で定められた手続きに基づき選任されているものとして認識している。

**町長** 各種要望の取り扱いは、企画財政課としましては、関係する課が担当課との連携が希薄な点がみられる。すみやかに改善を求める。

望者と県との調整をしている。指摘の県道口田沢川西線側溝整備（北一・南五日町・ひげ町一・ひげ町二各自治会連名）については町の重要事業要望として位置付けて、町として平成25年度の要望箇所としている。指摘の行政内部の情報共有化、連携の強化については今後とも十分機能するよう一層心がける。

**高橋** いろいろな具体例があるが、町政執行するにあたり、相手との人間関係が希薄だと感じられる。町長自身はどのように考えているか。

役のまちづくりの推進を図るため皆さんと良好な信頼関係を築くことを政治信条としている私にとり、「人間関係が希薄」との指摘は誠に残念である。指摘いただいたことは、意見として受け止めていきたい。



今年もにぎわうダリヤ園は本町観光の目玉

# フレンドリープラザ 照明を新しく

## 負約 請契



舞台上に欠かせない照明を3ヵ年計画で更新 — フレンドリープラザ

**フレンドリープラザ舞台照明設備改修工事**  
オープン18年目を迎えるフレンドリープラ

ザの舞台照明機器の耐用年数は、10年から15年といわれている。今回は5000万円をか

けるの改修工事である。

**全員賛成により可決**  
三枚床道環線道路改良工事を追加

町道三枚床道環線道路改良事業（中郡・堀金地域内）は、25年完成予定で工事が順調に進んでいる。

**全員賛成により可決**  
このたびは、堀金地内の暗渠排水管迂回工事などを行うため、280万円規模の工事変更である。

**全員賛成により可決**  
川西町総合運動公園整備工事を追加

今回の工事変更は、本年10月完成予定で工事を行っている人工芝ホッケー場を含む整備工事の「追加」工事である。主な内容は、給排水施設の増設や舗装工事の延長など700万円規模の追加工事である。

**全員賛成により可決**

## 広報モニターから ひとこと ⑤ 吉島前山 裕子さん



先日、初めて議会を傍聴させていただき、議員の方々の様子や態度が一目瞭然に感じることができました。限りある時間の中の議会と思いますが、最後の数分間でも、一般傍聴された方の意見や要望の時間があれば、今後傍聴する人も増え、か！

それを議会だよりに記載すれば、もっと身近に感じていくと思います。昨年の大震災で、仕事柄、被災者の方の県借上げ住宅の紹介をさせて頂き、強く残念に思ったことは、川西町に紹介する住宅がなかったことでした。せっかく川西町を希望された数組の方を御案内できず非常に申し訳なく思いました。町営住宅などを、リフォームして対応できないものかと思えます。被災者の方に限らず、他県より農業に挑戦したいと希望している方などの話を耳にすると、もっと受け入れ態勢が必要ではないでしょうか。今、安心で安全な食料と、心安らぐ環境が見直されている時代です。今こそ、わが川西町は、時代にマッチした最適な町ではないでしょうか！

# 凍上災 進む道路補修



来年度の完成をめざす三枚床道環線

## 7月・第5回臨時会

### 主な内容

国の「凍上災」認定を受け道路補修工事が進む

普通建設単独事業の医師住宅公舎の屋根吹き替え工事の追加補正105万円の議案の審議、さらには、「凍上災」関係事業として、国の認定を受け「北向線」西踏み切り

### 全員賛成により可決

担金と災害復旧事業債で対応することとなる。

三枚床道環線道路改良工事請負契約の締結

平成24年6月、「川西町契約に関する規則」に基づき指名競争入札に付

## 8月・第6回臨時会

### 主な内容

「凍上災」工事追加

「凍上災」による坂水田中線（吉島・下平柳地域）の災害復旧工事費2445万円など総額2723万円の増額補正である。

### 全員賛成により可決

町長・副町長給与減額 職員の不祥事により、管理監督責任者としての責任もあり、町長20%、副町長15%を2ヵ月減額するもの。

### 全員賛成により可決

し、道路改良工事契約金7560万円で請負契約締結を行うため、議会の議決が必要であり提案となった。

町道三枚床道環線道路改良事業（中郡・堀金地域内）のこれまでの経過は下表参照。

### 全員賛成により可決

## 三枚床道環線道路改良事業の流れ

施行年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
事業費（設計費、土地購入資金含）	5000万円	6900万円	1億3万円	1億円	1億円	4億1903万円
社会資本整備総合交付金（国の補助）	3250万円	4485万円	6500万円	6500万円	6500万円	2億7235万円

※不足する約35%の財源は、「過疎債（借入金）」を活用する。  
この借入金の70%は、償還時に地方交付税で交付され、戻ってくる。  
※24、25年度は、未竣工のため予定額となる。

## 教育委員

# 山田氏再任、奥山氏新任

### 教育委員会委員の任命に同意

#### ●山田 一郎

〈再任〉

教育委員・山田一郎氏が平成24年9月30日をもって任期満了となり、引き続き同氏を平成24年10月1日から委員として選任するもの。  
住所 川西町大字時田

### 全員賛成により同意

#### ●奥山 雅広

〈新任〉

教育委員・齋藤光夫氏が平成24年9月30日をもって任期満了となり、新たに、教育委員として奥山雅広氏を平成24年10月1日から委員として選任するもの。  
住所 川西町大字大塚

### 全員賛成により同意

## 請願

### 採択

◎地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願

《請願者》

米沢市塩井町塩野1の

1 日本労働組合総連合会  
置賜地域協議会  
議長 菊地 清

《紹介議員》

高梨 勇吉  
高橋 照夫  
黒澤 巖

《審査の経過と結果》  
地方自治体の果たすべき役割が重要になってきており、安定した財源の確保は願意妥当

### 全員賛成で採択

## 表紙の写真



### 収穫の喜び

9月25日予定されていた大塚小学校の稲刈りは、雨天のため26日に順延されて開催されました。大塚小学校の5年生により晴天の下、足元は少しぬかるんでいましたが、地元農家の安部先生の指導により、行われました。初めて鎌を持つことも多く、当初は危なっかしい手つきの子どもたちも徐々に慣れて、楽しみながら和気あいあいの中進められました。手に持つ稲穂が収穫の秋を実感させるものでした。



国に2意見書

森林を守る財源確保を



森林の公益的機能は大きい。保護の財源確保を一下小松古墳群からの眺望

◎地球温暖化対策に関する「地方財源確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書  
地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の喫緊の課題となっている。  
森林のもつ地球環境保護、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。  
もとより、地球温暖化防止を確実なものにするには、山村地域への市町村の主体的で総合的な支援・施策が不可欠である。

◎地方財政の充実・強化を求める意見書  
急速な高齢社会の到来による社会保障制度の早期確立や東日本大震災などによる影響により、地域経済の活性化が当面の課題となっている。  
特に、介護福祉の充

実、農林水産業の再興、クリーンエネルギーの開発など雇用と結びつけたこれらの政策分野の充実・強化が求められている。  
そのため、国には以下のことを求める。  
①被災自治体に対する復興財源を国の責任で確保すること。  
②少子高齢化に対応した一般行政経費の充実を盛り込んだ「地方財政計画」の策定。  
③小規模自治体に配慮した交付税の再配分機能の強化。  
④社会保障分野の単位の費用の改善。  
⑤国の直轄事業負担金の見直しを行うこと。

◎地球温暖化対策に関する「地方財源確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書  
地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の喫緊の課題となっている。  
森林のもつ地球環境保護、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。  
もとより、地球温暖化防止を確実なものにするには、山村地域への市町村の主体的で総合的な支援・施策が不可欠である。

◎地方財政の充実・強化を求める意見書  
急速な高齢社会の到来による社会保障制度の早期確立や東日本大震災などによる影響により、地域経済の活性化が当面の課題となっている。  
特に、介護福祉の充

実、農林水産業の再興、クリーンエネルギーの開発など雇用と結びつけたこれらの政策分野の充実・強化が求められている。  
そのため、国には以下のことを求める。  
①被災自治体に対する復興財源を国の責任で確保すること。  
②少子高齢化に対応した一般行政経費の充実を盛り込んだ「地方財政計画」の策定。  
③小規模自治体に配慮した交付税の再配分機能の強化。  
④社会保障分野の単位の費用の改善。  
⑤国の直轄事業負担金の見直しを行うこと。

委員会  
レポート

総務文教常任委員会

急がれる空き家対策

現在、町内に空き家が約200戸あり、1月の豪雪の際に倒壊して道路をふさいだため緊急的に町で解体撤去するということがあった。全国的にも空き家が急速に増加する見込みとなっている。  
すでに条例によって管理を促す自治体が増え、本町でも空き家対策が急がれていることから、8月23～24日「空き家などの適正管理に関する条例」のある秋田県横手市を視察した。一昨年の豪雪により、  
管理不全の空き家が29棟倒壊し、事故につながるケースも発生したことから、条例制定の取り組みをはじめ、本年1月1日から施行したものの。  
条例はあくまでも所有者・管理者の自主的な管理を促すもので、緊急時を除いて直接行政が管理するものではない。財産権・所有権が絡むものだけに対応が難しいが、条例制定により解決件数も増えてきているということであった。



空き家対策に取り組む横手市を視察

産業厚生常任委員会  
農地集積、6次産業化  
先進地に学ぶ

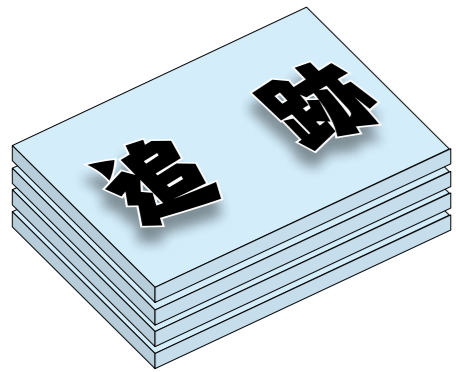


道の駅(東山道伊王野)の経営を学ぶ

8月21日～22日、「農業法人かぬま」と「東山道伊王野」の先進地視察を行った。  
「農業法人かぬま」は、370haの経営面積を有し、水稲作付の他に水稲苗の販売、はと麦加工製品の販売等

を経営の柱としている。特徴は、農村社会を維持継続するために、貸し手農家に水田の水管理、草刈等作業委託し、集落農業の崩壊を防ぐ手法をとっていること。  
本町においても、今

後農村社会をどのように持続させるのか、検討が必要な時期である。「東山道伊王野」は、地場産業の農林業が衰退するなか地域の活性化を目指し、里づくり委員会を発足させ、道の駅の整備と物産センターを設立した。  
この道の駅は基幹道路沿いではなく、多くの来客があるとは想像できなかったが、視察中も多くの来客があった。物産店等の経営においては、特徴ある商品の選定が必要である。この魅力は「そば」であり、山形県で修行したそうだ。  
今回の研修においても、リーダーの見識、魅力が必要と認識した。



あれから……  
どうなった！

# 国道川西バイパス事業開始



**経過**  
一般国道287号は山形県南部・置賜盆地の中心を南北に貫き、村山地域と結び、山形自動車道及び東北自動車道にアクセスし、庄内地方や仙台市に至る広域的な道路ネットワークを形成する非常に重要な路線である。置賜地域における国道287号の整備は、川西町をはじめ白鷹町、長井市及び米沢市で進

められてきた。長井南バイパスの第一期工事が平成9年度から着工され、その後平成14年度から平成15年度にかけては米沢北バイパスから長井南バイパスまでの12kmについて地元説明会後、アンケート調査が実施され「広域道路米沢長井道路計画検討委員会」においてルートの方角性が検討された。

**今後の見通し**  
平成24年度から南進する路線が川西バイパス(約5.7キロ)として町道雑魚田茨虫線まで事業着手されることとなり、第一期区間として長井南バイパス終点から県道高島川西線までの2.9キロメートルが予定されている。

今年度は地質調査や測量が計画されており、順次路線詳細決定、用地買収、本工事へと進む計画である。



先進地の会津若松市議会でも議会基本条例について調査を行った

川西町議会では平成24年3月23日3月定例議会最終日において「川西町議会活性化検討特別委員会」(議長を除く14名)を設置した。(期間平成25年4月30日まで)  
本町議会はこれまで議会改革・開かれた議会をめざし地方自治法及び川西町議会委員会条例・議会運用例等により町民の負託に応えるべき議会運営を行ってきたが、さらなる改革を前進させるため議会基本条例の制定に向けて設置した。

- 現在、特別委員会小委員会(5名)委員により素案作成を行なっているが検討内容は次
- 1、議会本来権限の行使
  - 2、開かれた議会づくり
  - 3、議会の審議・討論の活性化
  - 4、組織運営の有効性

- ①議員定数の削減
  - ②議員報酬の見直し
  - ③政務調査費の透明化
  - ④議員の政治倫理
- 以上の項目をはじめ各課題について検討している。これまで先進地調査や新潟県立大学准教授の田口一博氏による講演や御指導により進めている。
- 今後、町民の方々の意見等をお聞きする場面を設ける予定であり、議会基本条例制定に向けて協議していく。

活性化  
特別委

## さらなる議会改革のために 議会基本条例の制定を目指す

まちの未来が見える(9月定例会の傍聴者は15人でした)  
**議会傍聴においでください**  
手続きは簡単 次の定例会は12月です

# 町民の声



## ◆プロフィール◆

佐々木美紀

川西町大字上奥田在住。  
南陽市出身。夫、中1、小4の男の子、夫の両親の6人家族

東沢地区にお住まいの佐々木美紀さんに地域活動や子育てについて聞きました。

### 川西町に住んで思うこと

自然豊かで、季節と旬をたっぷり感じながら生活できる町だと思っています。

また川西町の至る所で地域の花壇が見られ心が癒されますね。

### 地域活動をしていて思うことは

私の住んでいる地域では、春祭りや納涼夏祭り、体育祭など、大きな事業がいろいろ行われ、たくさんの方が集まって楽しめます。人の集まるところには笑顔があり、元気をもらえますね。

もう一つ、交流センター事業に、子どもたちが楽しみにしている「スマイルクラブ」があり、毎月1回行われています。この事業には、老人クラブや青年部をはじめ地域の各種団体の方々の協力があります。魚釣りやグラ



家族とともに夕食後のだんらん

ドゴルフ、わら細工や餅つき、かまくら作りなど、親子で参加できるものも多く、一緒に楽しむことができます。子どもたちは、地域活動に参加することで、人とのふれあいや関わり合いを学ぶのではないでしょう。地域の方々に温かく見守られている安心感がありますね。

### 子育てをして感じることは

まず一番に、家族に感謝しています。おじいちゃん、おばあちゃん、の協力があって毎日を過ごすことができます。

まだ子どもが小さい頃は、子守りをしながらの畑仕事など大変だったと思います。私が、仕事で遅かったり、帰りが遅くなったりしても、家族の理解と協力のおかげで頑張ることができました。生活の中心に子どもがいて、子どもの支えと助けがあり子育てできること、同居のありがたさを感じています。そして、家族と同じように接して下さる地域の方々の優しい人柄に心から感謝しています。

## 編集のあと

▼残暑というには、あまりにも暑い季節が続き、稲刈りがスタートした途端、雨が降りはじめ収穫の秋が心配される気候となっている。▼最近の異常気象は私たちには何らかの警笛をならしているのだろうか。▼9月議会定例会を終え、議会広報の作成に追われている。町民の方々に親しまれる議会だよりを目指して奮闘。

(遠藤章)

- 発行責任者 齋藤 修一
- 委員長 佐々木賢一
- 副委員長 斉藤 智志
- 委員 高橋 輝行
- 同 高橋 昭夫
- 同 高橋 建一
- 同 遠藤 章一
- アドバイザー(文章) 小林 伸也
- アドバイザー(写真) 近野ユキ子
- 阪野 吉平
- 青木 督平
- 鴨 源一